

日本でいちばん大切にしたい会社7 掲載企業資料

●陰山建設株式会社（福島県郡山市）

36年間おこなっている献血イベントは毎年1200人以上を集める地元で愛されているゼネコン。各地の災害の際には持てる技術（高圧吸引洗浄など）を発揮して社員全員でボランティアに取り組んでいる。第9回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞。

本社住所：〒963-8814 福島県郡山市石湊町1番9号

代表：代表取締役 陰山正弘

<http://www.kageken.jp/>



ポイント

- ・献血イベントは今年で36年間、一度も休まず続けられている。毎年8月開催。延べ3万8000人近くの方が献血。お食事やくじコーナーも行われお祭りの雰囲気。
- ・亡くなった社員の子供が大学を卒業するまでの学費を支援するなど、社員を大切にしていることでも高い評価。
- ・資金繰りに行きづまり倒産寸前までになったが、地元の助けもあって復活した。

●昭和測器株式会社（東京都千代田区）

40年前からニッチとも言える振動計専門メーカーとしての道を歩み、絶え間ない研究開発と専門性の追求により、顧客からの要望に応え続けてきた結果、今や日本の大手メーカーにとってもなくてはならない業界トップ企業となっている。

本社住所：101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-5-9

代表：代表取締役社長 鶴飼 健治

<http://www.showasokki.co.jp>



ポイント

- ・1台でも需要があれば廃番にせずにつくり続ける。ニッチにこだわる姿勢が、先を見越したニーズの掘り起こしと技術開発に結びついている。
- ・社長自らもタイムカードをつけ、接待会食を一切行わないといったトップの率先垂範の姿勢により、顧客満足だけでなく、従業員満足を実現させている。

●フジイコーポレーション株式会社（新潟県燕市）

創業 150 年以上を超える新潟県燕市の除雪機等各種機械メーカー。同社の除雪機は、サンタクロース村から公認され、南極でも使用されている。優しい大家族的経営で知られていて、高齢者、女性、障がい者、外国人の方々が次々と集まっている。第5回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞。

本社住所：〒959-1276 新潟県燕市小池 285

代表：代表取締役 藤井大介

<https://www.e-fujii.co.jp/index.html>



ポイント

- ・親子で職業体験ができる「うわ〜きっず」では、子供たちが作業して出来上がった除雪機が、実際に輸出されることもある。
- ・地域密着の優良企業。ガンで亡くなった社員が「フジイの制服を棺に入れてほしい。火葬場に行くときは会社の前を通ってくれないか」と遺言で遺すなど、社員の思いが強い。

●NPO法人六星（静岡県浜松市）

1996 年（平成 8 年）に全国初の視覚障がい者中心の小規模作業所としてスタート。白杖づくり、点字印刷、小物づくりなどの作業を通して、視覚障がい者が社会で安心して楽しく生活できる様な技術と精神力を身につける「視覚障がい者リハビリテーション」を実践している。

事業所：ウイズ半田 431-3124 静岡県浜松市東区半田町 104-3

代表：代表理事 斯波 千秋

<http://npo6seiwith.sakura.ne.jp/6sei/>



ポイント

- ・創業者の斯波 氏は、本田宗一郎とともに自動車修理工場「アート商会」で学び、一緒に旅先で全盲者の杖を修理したことで、視覚障がい者の人たちを助ける会社を作ろうと思いつく。
- ・「日本初の視覚障がい者のための施設」取材に訪れた新聞記者たちの名刺を点字を印刷したことをきっかけに、知事、県の職員もこぞって点字名刺を注文する。
- ・海外からの人材も積極的に登用。スリランカ人、ブラジル人、ペルー人の方も働いている。

●有限会社ツマガリ（兵庫県西宮市）

1987年創業。社員数は約250名。関西の超人気ケーキ屋さん。大丸神戸店、大丸梅田店にも出店している。遠隔地からも、ツマガリのケーキを買いに来るお客が引きも切らない。障がい者の雇用に熱心に取り組み、トラブルがあっても障がい者を大切にカバーして雇用を継続している。第7回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞。

本社住所：662-0015 兵庫県西宮市甲陽園本庄町 6-38

代表：津曲 孝

<https://www.tsumagari.co.jp/>



ポイント

- ・ 町周辺の空き店舗には、地域のため相手の言い値で購入または賃貸契約。その結果、地域の街並みが「ツマガリ通り」と呼ばれるようになる。お菓子をつくる工房やパッケージをつくるデザイン室、倉庫やバックオフィスなど用途はさまざま。
- ・ 津曲社長の名刺の肩書は「社長」ではなく「製菓技術者」。格好も、いつもカジュアルな服装か、菓子職人の白衣姿。

●出雲土建株式会社（島根県出雲市）

1980年創業。社員数は73名。住宅の建材から発生する有害物質を吸着し、自然な調湿機能によってカビやダニを減らす「炭八」をつくっている。大学との産学連携によって機能・効果の科学的な裏付けを得たことで、「炭八」を使った住まいは出雲から日本全国に広がりつつある。

本社住所：693-0033 出雲市知井宮町 138 番地 3

代表： 代表取締役 石飛裕司

<http://www.i-doken.co.jp/>



ポイント

- ・ 会社が瀕死な状態から島根大学との共同研究に社長自ら取り組み「炭八」を生み出し復活した。
 - ・ 社長になったあとは、何年間もほとんど、実質的には給料をもらっていなかった。ほとんどのお金を会社の借金返済や経費などに回していた。
-

